

パオちゃん's EYE

2021年8月1日発行 No.53

モチノキ科の花

モチノキ科 Aquifoliaceae は被子植物の科のひとつです。熱帯～温帯を中心とする世界各地に約 600 種（しゅ）が分布し、いずれも木本です。日本には 23 種が分布し、岡山県では今のところ 13 種と 1 変種が記録されています。倉敷でよく見られるのは常緑樹のクロガネモチ（あくら）やソヨゴ、ナナミノキなどです。秋～冬に赤く美しい果実をつけるものが多く、クロガネモチなどは庭木に利用されます。

モチノキ科の植物は雌雄異株（しゅういしゅ）で、雌株と雄株があります。雌株には雌花のみが、雄株には雄花のみが咲くので、雌雄 2 株以上がないと実が付きません。

写真はクロガネモチとナナミノキの花です。直径はいずれも 5 ミリくらいで、5 月～6 月を中心に開花します。雌花は雌しべと雄しべの両方が目立ちますが、雄しべは花粉を作る機能を失っています。雄花は雄しべだけが発達し、雌しべは退化しており目立ちません。

赤い果実が注目されやすいモチノキ科ですが、小さな花にも面白さがつまっています。来年の初夏、ルーペやカメラを片手に観察してみたいはいかがでしょうか。



雌花



雄花

クロガネモチ *Ilex rotunda* Thunb.



雌花



雄花

ナナミノキ *Ilex chinensis* Sims

鐵 慎太郎(植物担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう! パオより

